Kussharo-Kotan

弟子屈町屈斜路コタン

アイヌ民族資料館

Ainu Museum

Ako2

アイヌ民族の歴史と文化

【当館の沿革】

当館は1982年（昭和57年）、屈斜路コタンにおける厳しい自然との関わりの中で培われてきたアイヌの人々の生活の英知や歴史を後世に残していくことをテーマに建てられました。設計者は「釧路市立博物館」や「釧路湿原展望台」を設計した毛綱毅曠（もづなきこう）氏です。入口正面にある7本の柱は宇宙の時間を象徴する聖数七をあらわし、中にある31本の柱は天地玄黄の構成因子を表しています。

【映画「チロンヌプカムイ イオマンテ」（短縮版）の上映】

1986年（昭和61年）、屈斜路湖を望む美幌峠で75年ぶりに行われた「キタキツネのイオマンテ（霊送り）」を撮影したドキュメンタリー映画を基に、当館用に儀礼シーンを中心に編集し、約35分に短縮化したものを上映しております。

【山野を駆ける】

大昔のアイヌの人々の暮らしは、「狩猟・漁労・採集」を中心に展開されてきました。人々は信仰に厚く、自然界に多くの神々の存在を信じ、中でも「コタンコロカムイ（シマフクロウ）」はコタンの守り神として最も尊い神様として祭られました。「祭る」「働く」「食べる」「着る」といった基本的な生活のあらゆる部分からアイヌ文化の根底に流れる自然観に触れることが出来ます。

THE AINU LIVING IN NATURE

The lives of the ancienet people of Ainu weremolded by their core lifestyle of hunting,fishing and gathering in the mountains and plains. Also,the Ainu peoplewere very religous,worshiping many gods who represented all of the natural world. Through these artifacts of worship,working,eating.

屈斜路コタンで行われた送り儀礼「熊祭り（イオマンテ）」の様子を記録した映像の上映を行っています。（約10分）

【コタンの移り変わり】

コタンはアイヌ語で「集落」を意味します。屈斜路は昔から人々の生活の拠点として、生活に適した場所であったようです。またこの周辺では、縄文文化期から続縄文文化期の遺跡も発見されています。

THE DEVELOPMENT OF KOTAN

Kotan,an Ainu word,is the name of this Ainu village where they have lived since ancient times. These artifacts from two to six thousand years ago,help us understand the history and people of Kotan in prehistoric times.

【コタンの大地】

屈斜路湖の誕生は、今から数万年前の更新世の末期に巨大な爆発を起こし、形成されたといわれています。屈斜路湖が出来上がるまでの過程と気候・風土、さらにはコタンを取り巻く大自然に生きる動物や植物について長い間に培われてきたアイヌ文化の生活の知恵を紹介しています。

THE ENVIRONMENT OF KOTAN

Lake Kussharo is a caldera lake that was formed by an explosive eruption several thousand years ago. This exhibit shows us thewisdom of the Kotan Aine's culture which has been cultivated for a long time within the confines of the virgin forest.

アイヌ民族の衣装や生活に関わる道具など400点以上の資料が展示されています。

【衣装】
オヒョウの木の皮から作られる「アットゥシ」(樹皮衣)、木綿衣に切伏文様と刺繍を施した「ルウンペ」「チカルカルペ」「カパラミプ」のほか、刺繍のみを施した「チヂリ」などがあります。

【ニンカリ(耳飾り)】
耳飾は真鍮製で円形をしており、飾りとして金属製の玉や石などが用いられました。
男女問わず利用され、儀礼の際などにも使用されました。

【タンパクオプ・ニキセリ(タバコ入れ・キセル)】
タバコはアイヌの人々に親しまれており、儀礼の際にも用いられていました。
喫煙具は「タバコ入れ」「キセル」「キセル差し」が一組になっており、アイヌ語で「タンパクオプ」「キセリ」または「ニキセリ」と呼ばれています。
タンパクオプには、様々な文様が施され、つくり手の想いが込められています。

【トンコリ(五弦琴)】
トンコリはアイヌ民族に伝わる弦楽器で、一般的に樺太アイヌの楽器として知られています。
3本から5本の弦が張られており、「五弦琴」と呼ばれています。
演奏する際には座った状態で、トンコリを肩に立てかけて、弦を弾いて演奏します。

【ムックリ(口琴)】
ムックリはアイヌ民族の伝統的な楽器です。
口琴(こうきん)という楽器の一種で、材料には竹が使用されています。
演奏の仕方としては、ムックリの本体を左手で持ち、口に当てて固定します。その後右手で糸を引っ張ると本体が振動し音が出ますので、口の中で反響させて演奏します。

利用案内

INFORMATION

開館時間：AM 9:00～PM 5:00
開 館 日：4月10日～11月30日まで
休 館 日：12月1日から4月9日まで
入 館 料：大人（高校生以上）420円（350円）
　　小人（小・中学生）　280円（200円）
　　（　）内は団体料金、団体は20名以上

お問い合わせ
〒088-3351
北海道川上郡弟子屈町字屈斜路市街1条通14番地
電話（FAX兼）：（015）484-2128

最新情報は
こちらから

【休館時のお問い合わせ先】
〒088-3211
北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番2号
弟子屈町教育委員会社会教育課
電話：015-482-2948　FAX：015-482-2343
E-mail：shogai@town.teshikaga.hokkaido.jp